

観光分野の産学官連携

やまぐち

山口 かずさ

民主党・市民連合



問 観光は本市の重要な産業であり、観光客のニーズの把握と施策への反映、観光業界の人材育成、民間企業との課題共有や戦略立案の取り組みが求められています。観光分野の産学官連携をどう進めていくのですか。
答 本市と北海道大学が共同研究した観光客動向調査の成果を観光産業にフィードバックしており、今後もこのような取り組みを進めたいと考えています。

市議会の動き

9月21日に招集された第3回定例会の中から、9月27日、28日、29日の代表質問の主な内容、10月10日までに議決された議案などについてお知らせします。10月11日以降の内容は、12月号でお知らせします。なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧になれます。

女性の疾病対策

たにさわ しゅんいち

谷沢 俊一

公明党



問 ヒト白血病ウイルス-I型は成人T細胞白血病の原因であり、母子感染するウイルスです。母乳からの感染を予防するため、政令市のうち3市が妊婦健診の検査項目として導入しており、北海道も標準検査項目に指定しています。本市も妊婦健診の検査項目として導入する考えはあるのか、伺います。

答 現在、国で総合的な対策を検討中であり、本市も前向きに検討したいと考えています。

問 子宮頸がんワクチンの接種費用は高額です。助成制度を導入している自治体では、全額助成が多いという状況から、本市も全額を助成すべきですが、いかがですか。

答 国や北海道などの動向を踏まえ、財政状況も勘案しながら、助成の在り方を検討していきたいと考えています。

児童虐待への対応

はやしや

林家とんでん平

へい

民主党・市民連合



問 7月に大阪市で発生した児童の死亡事件は、事前に児童相談所へ何度も通報があったとのことですが、本市の場合、どのような対応を行う体制となっているのですか。
答 通報後は職員が即座に現場確認し、夜間・休日でも市内の児童家庭支援センターと連携して、子どもの安全確認を行う体制を整えています。

問 児童相談所の将来構想について、どのような議論が行われているのか、現在の進捗状況も併せて伺います。
答 社会福祉審議会児童福祉専門分科会では、児童相談所の複数設置や適切な人材配置、地域との効果的な役割分担、一時保護所の定員増などを検討しています。11月に意見具申を受け、年度内に構想を策定する予定です。

ごみ問題

むらやま

村山 秀哉

しゅうや

自民党



問 町内会やPTAなどの集団資源回収実施団体に対する奨励金を、本市は昨年、1kg当たり2円から3円に引き上げました。主要古紙の混入を防ぎ、製紙原料化を一層促進するため、集団資源回収の拡大が必要ですが、奨励金のさらなる引き上げについて伺います。

答 雑がみ分別キャンペーンや資源回収拠点の拡充を進め、奨励金引き上げの効果や主要古紙の雑がみ混入率、回収実績などを踏まえて判断したいと考えています。

問 家庭ごみの戸別収集について、モデル地区での実証実験を早急に行うべきと考えますが、いかがか伺います。

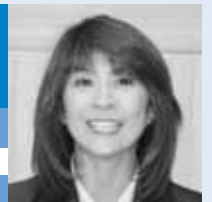
答 有識者と市民からなる調査研究委員会での調査結果を受けて、実証実験の実施を判断したいと考えています。

菊水上町地区の住環境整備

ささき

佐々木みつこ

自民党



問 菊水上町地区は防災と住環境整備の必要性が高い地区と位置付けられていますが、整備が未着手の街区もあります。地域住民の要望を受け止め、関係部局で情報共有しながら、早期に着手すべきですが、いかがですか。

答 菊水上町の北側に位置する街区の整備状況を見ながら、南側についても段階的に取り組む予定であり、地域住民と議論を進めていきたいと思っております。